

ポータルサイトを変えて  
利用するたびに寄付

ニュースやトピックス、検索窓などがあり、インターネットの入り口となるポータルサイト。「緑のgoo」は、ウェブサイトを利用してもらうことで得られる収益の一部を環境保護団体などに寄付。「goo」トップページ右上の緑の「g」アイコンをクリックし、「緑のgoo」バージョンに設定すれば、利用するだけで寄付が可能。



緑のgoo  
www.goo.ne.jp/green/  
ウェブサイト収益の一部を環境保護団体に寄付。FirefoxやIE 8など、「緑のgoo」の機能があらかじめ搭載されたブラウザでもダウンロードできる。

リーフバンク  
http://leafbank.jp/  
リーフバンクのサイト内、もしくはダウンロードされた検索ツールバーが利用されると、1回ごとに広告料が発生。広告収益の20%を緑化事業等を推進する環境保護NPOに寄付。

OCN緑の検索  
www.ocn.ne.jp/websearch/green/  
「緑の検索」バージョンに設定したOCNトップページのサービスを利用すると、そこで発生する広告収益の一部が環境保護団体に寄付される。



寄付って  
面倒くさい

どうやって寄付したらいいかわからないし、わざわざ自分で探すのも面倒くさい…。そんなあなたに、「普通に生活しているだけなのに、いつの間にか寄付してる」窓口をお知らせします。

生活用品の選び方を  
変えるだけで寄付

パッケージに注目してみると、社会貢献団体に寄付している商品は意外と多いことに気付くはず。ボルヴィックの「1L for 10L」は有名だが(現在は終了)、カップラーメン「北海道味物語」や、使い捨てにしてしまいがちな乾電池まで実に様々なものがある。日常にお世話になっている商品だからこそ、ひとつひとつは小さな積み重ねでも、集めればけっこうな金額になりそう。



北海道味物語  
じゃが畑バター味ラーメン  
179円(税込)

北海道味物語(エースコック)  
売り上げの一部が旭山動物園を支援する基金に寄付される。

ジョージア グリーンプラネット  
(日本ココアコーラ)  
缶コーヒー1本につき、500グラムのCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献できる。

アサヒスーパードライ(アサヒビール)  
売り上げの一部を、地域ごとの自然や環境、重要文化財などの保護・保全活動に寄付。

トップ(ライオン)  
期間限定で、売り上げの一部を、日本河川協会「きれいな川と暮らし」基金に寄付。

ソニー製乾電池、充電電池(ソニー)  
市販されているソニーの乾電池・充電電池の売り上げの一部を、NPO法人地球温暖化防止活動を行う「そらべあ基金」に寄付。



社会貢献型カードで  
買い物するたびに寄付

クレジットカードのなかには、買い物した金額の数%を特定の団体に寄付できるカードがある。たとえば「公益財団法人 日本盲導犬協会ゴールドカード」は、利用金額の0.3~0.5%を日本盲導犬協会に寄付。また、「コスモザカードオーバス[エコ]」のように、年会費の代わりに毎年数百円を寄付するカードも。寄付先をモチーフにした絵柄でちょっとしたアピールもできそう。



公益財団法人 日本盲導犬協会ゴールドカード(三菱UFJニコス)  
盲導犬の育成のため、利用金額の0.3~0.5%を公益財団法人 日本盲導犬協会に寄付。

コスモザカードオーバス[エコ](イオンクレジットサービス)  
毎年自動で500円をコスモ石油エコカード基金に寄付。環境保全や環境教育に使われる。

日本白血病研究基金カード(セゾンカード)  
利用金額の1.0%相当額を白血病の研究活動のため、日本白血病研究基金に寄付。

ユニセフVISAカード(三井住友VISAカード)  
利用代金の一部を貧困や病気に苦しむ世界の子どもたちのため、日本ユニセフ協会に寄付。

WWFカード(UCカード)  
世界の自然を守るため、利用金額の一部をWWF(世界自然保護基金)に寄付。

スポーツやアーティストの  
夢を叶えるために寄付

熱い想いと才能はあるけど、活動資金が足りない。そんなスポーツ選手やアーティストを、ささやかながら応援できるサイトが近年立て続けにオープン。アスリートに特化した「アスリートエール」や、プロジェクトごとに寄付を募る「CAMPFIRE」など、サイトによって被寄付者の特色が分かっている。彼、彼女らを応援してみたい?



アスリートエール  
www.spo-navi.jp/athlete/  
球技からモータースポーツまで様々なスポーツのアスリートが登録。525円からミニスポンサーとして、彼らの活動を支援することができる。

CAMPFIRE  
http://camp-fire.jp/  
クリエイターの創作活動に対し、少額から寄付できる。

信頼できて、お手軽カンタン!  
寄付窓口サービスいろいろ

「寄付ってやっぱり面倒くさい」というおっくうさんも、「寄付って本当に届いているの?」という疑い屋さんも、まずはここに書いてある方法をチェックしてみて。「ながら寄付」と「見える寄付」で、お手軽&カンタン寄付デビューなのです。



キフボンプロジェクト



キフボンプロジェクト  
[www.kifubon.jp]



エコハロー! 衣料支援プロジェクト  
[www.millsutudosan.co.jp/ecohello/clothes]

3月の第1、第2土・日曜に、いらなくなった衣類を三井不動産の指定された商業施設に持っていき、各国の難民や被災者に届けてくれる。

家でなかなか捨てられずに残っているもの

1位 衣類	24.0%
2位 雑誌・本	13.0%
3位 パソコン・パソコン周辺機器	3.6%
4位 写真・アルバム	3.6%
5位 おもちゃ・ゲーム機	2.6%
6位 テレビ	1.6%
7位 手紙・ハガキ	1.0%
特になし	30.0%
その他	20.6%

アンケートのフリーコメントを分類して集計。上位にランクインした物品は、左記の団体で寄付として受け取ってもらえる。

家にあるものが世の中にも誰かにとってほしいもの

寄付先: 日本ユニセフ協会、日本赤十字社、日本盲導犬協会、WWF(世界自然保護基金)

申込書と古本を箱に入れ、書店(「バリューブック」)に連絡すれば、宅配業者を手配して買い取ってくれる。買い取り金は若者の就労支援に。